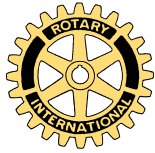


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



## Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 橋本 恭典  
幹事 鈴木 文三郎  
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2581回例会プログラム

[当年度=23回目；当月=1週目]

2008年（平成20年）2月4日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. 国歌斉唱  
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想  
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告  
9. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
10. 幹事報告  
11. 出席報告  
12. 委員会報告  
13. ニコニコボックス報告  
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(2/11)……休会(法定休日)  
(2/18)……クラブフォーラム(国際奉仕委員会)  
講師 2005～06年度  
ロータリー財団国際親善奨学生  
平田 康治 君  
(紹介者 杉浦世志朗 会員)

## 2. クラブフォーラム……………〈ロータリー情報委員会〉

- 13:00 卓話 「ロータリーと私」  
講師 地区ロータリー情報委員会  
副委員長 前田 孝司 会員  
(紹介者 加藤 哲也 会員)
15. 謝辞  
16. 点鐘……〈会長〉  
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散会

## 出席

会員総数 95名 出席免除 19名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名  
欠席 16名 出席率 82.02%  
前々回(1/21)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 加藤俊二会員にロータリー財団から、恒久基金への寄付に対してベネファクター認証状が届いておりますので、ここでお渡しします。



加藤会員への認証状授与

## 幹事報告

- 1) 今日配布したウィークリー22号に、野村重彦パストガバナーからの特別寄稿「ポールハリスの月桂樹Ⅲ世」が掲載されていますので、ぜひ一読下さい。

## 会長あいさつ

橋本 恭典



先週、新聞に裁判員制度の広告が、一面全部を使って載っておりました。これまでも度々広告が出されておりましたが、まだまだ先のことと考え、まったく目を通しておりませんでした。どうやら今年の年末には「あなたは裁判員の候補者になりました」という封書が届く人がいるそうなので、初めて調べ

てみました。今日ご出席の皆様は既に熟知されてお見えの方が多からうとは存じますが、復習のつもりでお聞き願えば幸いです。

裁判所には緑の遠い我々は、裁判員という言葉から想像するのはテレビで観るアメリカ映画の陪審員です。ペリーメイスンを始め弁護士が主役の映画が多い法廷映画では、陪審員は脇役に過ぎません。弁護士は事実がどうあれ、陪審員にいかにか好印象を与え、たとえ事件の犯人であったとしても、ともかく陪審員に無罪の判断をさせるように仕向ける映画が多いような気がします。脇役であったとしても法廷で有罪無罪を決めるのは10名前後いる陪審員です。ある事件の被告人について検事や弁護士の話を陪審員席で聞き、有罪か無罪かを定めるものです。有罪となった場合の量刑については、裁判官が決めます。

さて、裁判員制度の方はどうかと言いますと、陪審員と違うところは、有罪無罪は勿論、量刑も決めなければなりません。地方裁判所で行われる刑事裁判の一部に参加し、3名の裁判官と6名の裁判員が協議をして判決を宣告するまでを担当します。6名の裁判員は衆議院選挙の有権者から任意に抽出されます。要はくじ引きみたいなものです。年間3,000件程度の重大事件（殺人、傷害致死、放火）の裁判を担当しますが、候補者としてはその10倍以上をお願いするので、約0.25%の方が毎年裁判所からの呼び出し通知を受けることになります。20歳から70歳までの50年間、一生の間におおよそ5人に1人は裁判所からの呼び出し状を受け、50人に1人が裁判員になる確率です。たいした確率ではありませんが、宝くじよりも圧倒的に当たる確率が高いと思います。

裁判員候補者となっても理由があれば辞退することもできます。具体的には年齢が70歳以上の方、会期中の地方議員、学生生徒、同居親族の介護などで、「仕事が忙しい」だけの理由ではちょっと難しそうです。裁判員が参加する裁判は、長い期間かけてやるものではなく、あらかじめ相当のところまでは、裁判所で検事、弁護士等で進められており、裁判員が参加する場合、概ね連続した2-3日で一件落着になるとのことです。日当も8,000円程度つきましますので、選ばれればしょうがないといったところでしょうか、ただし死刑判決などになりそうな裁判とか、判断が非常に難しい裁判はごめんこうむりたいですね。今日は避けては通れない裁判員制度の復習でした。

## お 祝 い

**2月の会員の誕生日**…岡本琢磨、高野基弘、御友重孝、盛田豊一、橋本恭典、三浦恭嗣、中村道彦、中林久美、伊藤節夫、今野博樹、神田彦会員。

**配偶者の誕生日**…平野恵子（和一）、野村弘子（重彦）、加藤好子（恒治）、杉浦光子（芳一）、磯村智子（達男）、水野道代（宏幸）夫人。

**2月度結婚記念日**…鈴木光彦、竹内一郎、廣根実、橋典子、三浦恭嗣、市川裕大、中村道彦会員。

**2月度入会記念日**…三ッ松芳隆、黒田義之、羽田育哉、

神谷光義、加藤恒治、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄会員。

## 卓 話

### 「ロータリーと私」

地区ロータリー情報委員会 副委員長  
前田 孝司 会員



私はロータリークラブに入って25年になります。身元引受人は、加藤恒治会員です。岡本戯絃会員とは入会日が同じこともあり、これまで本当に助けて頂いております。岡本さんは温厚な方で、人を理解することにおいて、まさにロータリアンだと

感銘を受けております。

入会后、ロータリーのすべてに精通された水越勝大先輩に懇切丁寧なレクチャーを頂きました。長時間にわたることも多々ありましたが、こうして忍耐強く頑張ってきたのは、ロータリーを通じてできた、かけがえのない友人のお陰だと思っています。

本日は、ロータリーの起源と発展の経緯などについてお話ししたいと思います。

皆さんもご存知のとおり、ポールP・ハリスが1905年にロータリークラブを作りました。ハリスは、世相が荒れていた時代に孤独と疎外感に悩み、「1業種1人制」の友愛と相互扶助のクラブ構想を思いつきました。

このアイデアは世の中に大変受け入れられ、5年後には全米に広がり16クラブ・1,800人の会員ができ、全米ロータリークラブ連合会が結成されました。翌年には、イギリス、アイルランドなどにもクラブが発足。1912年には50クラブ・5,000人の会員ができ、ロータリークラブ国際連合会が結成されました。

「職業奉仕」や「社会奉仕」といった現在のロータリーにおける考え方のほとんどはこの時代に作られました。人間というものは、どの時代にも素晴らしい人が出て、一つの物事を確立していくものだ、と感じております。

さて、日本で言う「奉仕」は、ロータリーのそれとは少し違うのではないかという話が聞かれます。日本の「奉仕」は、昔の士農工商という縦社会、つまり「仕え奉る」概念から来ています。しかし、ロータリーの「service」という言葉は「人のためになる」という意味合いであり、日本語で「奉仕」とするのは少々使いにくい気がします。

とはいえ、日本語で「職業サービス」「社会サービス」と言ってしまうと、かえって分かりにくいかもしれませんね。私はやはり、「service」という語源を理解した上で「奉仕」を使うべきではないかと思っています。

そして1915年には、サンフランシスコ国際連合会で、「わが職業は価値あるものであり、世に service（奉仕）する絶好の機会が与えられていると考えるべき」等が倫理訓として採用され、ロータリーの意義は、ここへ来て他人への service（奉仕）というより、もっと広い分野に軌道修正されました。

ロータリーの根源は、会員が自分の職業、いわば天職の品位を高め、倫理観を高め、そして職業・会社を通じて社会に奉仕することです。そして、クラブにおける根源とは「出席」です。ロータリーには多くの友人がおり、その人たちは業界ナンバー・ワンの素晴らしい会社で経営者としても世の中から尊敬されています。その人たちと接する機会を持つことで、いろんなことを勉強し、アドバイスを受け、自分を磨き高めていくことができます。

「出席」と「職業奉仕」、これがロータリークラブにおける最大の根源であると思っています。